
Windows7インストール手順書
(MLシリーズ WindowsXP モデル)

■はじめに

この手順書はMLシリーズWindowsXPモデルを WindowsXPからWindows7へ変更する手順を説明しています。Windows7のインストールを行う前に下記【注意事項】をよくお読みになり、事前にバックアップを行った上で作業を行ってください。このインストール手順書はWindows7 Home Premium(32bit)用として作成されております。エディションによっては、操作が若干異なることがあります。

■注意事項

- ・ Windows7のインストールを行う際、ハードディスクの初期化を行います。ハードディスクの初期化を行うとハードディスク上のデータはすべて消去されます。お客様の作成されたデータなどは、必ずバックアップを行った上で作業を行ってください。
- ・ Windows7 へアップグレードを行った場合、アップグレード前に使用できた機能が使用できない場合があります。また、Windows7で提供されるすべての機能が、そのままお使いいただけることを保証するものではありません。
- ・ Windows7へのインストール中はインターネットへの接続が出来ません。必要なドライバなどはインストール前にダウンロードする必要があります。
- ・ いままでWindowsXP上で動作していたソフトウェアがWindows7上で動作しない場合があります。
- ・ 弊社サービスセンターでのWindows7へのOS変更サービスは行っておりません。また、WindowsXPへの復元を弊社サービスセンターへご依頼いただいた場合、有償修理扱いとなり、所定の費用が発生いたします。あらかじめご了承ください。

■Windows7のインストールに必要な機器について

Windows7のインストールを行うためには以下の機器が必要となります。

- ・ Windows7 OSのDVD-ROM
別途ご購入いただく必要があります。
- ・ DVDが読み書き可能な外付け光学ドライブ（USB接続のもの）
OSのインストールに必要となります。
また、「WindowsXPリカバリディスク」を作成する場合に必要となります。
- ・ ブランクDVD-R（1枚）
「WindowsXPリカバリディスク」を作成する場合に必要となります。
- ・ 外付けUSBメモリ／ハードディスクなど
お客様のデータのバックアップを行うために必要となります。
本体に標準添付されているプログラムだけで1GB程度の容量が必要なため、できるだけ大きな容量のものをご準備ください。
「Windows転送ツール」を使用することで必要な容量が表示されます。
下記【データのバックアップ】項目をご参照ください。

■Windows7へアップグレードを行う前に必要な作業

【データのバックアップ】

1. お客様が作成されたデータを「Windows転送ツール」を使用してバックアップを行います。
外付け光学ドライブを本体に接続し、「Windows7 OSのDVD-ROM」を挿入します。

※以下の説明は外付けDVDドライブが、Eドライブと認識されているものとします。
2. Windowsのインストール画面が表示されますので、右上の「X」をクリックし、ウィンドウを閉じます。
3. 「マイコンピュータ」を開き、外付け光学ドライブを右クリックし、「開く(O)」を選択します。
4. 「support」→「migwiz」の順にフォルダを開き、「migsetup」をダブルクリックします。(環境によっては「migsetup.exe」と表示される場合があります。)
5. 「Windows 転送ツール」画面が表示されますので「次へ(N)」をクリックします。
6. 「外付けハード ディスクまたは USB フラッシュ ドライブ」を選択します。
7. 「→これは今までのコンピューターです」を選択します。
8. 「転送できる内容を確認しています…」画面が表示されますので、そのままお待ちください。
9. 「このコンピューターから転送する内容を選択します」画面が表示されます。コピーするのに必要な容量が表示されます。
「外付けUSBメモリ／ハードディスク」などの空き容量が不足する場合、右上の「X」をクリックし、作業を中断してください。
問題がない場合、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」を接続し、「次へ(N)」をクリックします。

※「c:¥KJS」以下のデータが自動的に保存される設定になっています。
「c:¥KJS」以下のデータはWindows7インストール後も必要となりますので、必ずコピーする設定にしてください。
10. 「転送するファイルおよび設定を保存します」画面が表示されます。
「パスワード」を入力せずに「保存(S)」をクリックします。
11. 「転送ツールの保存先」が表示されますので、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」を選択し、「保存(S)」をクリックします。

※標準の保存名は「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」となります。
12. 保存が完了すると「転送のためのファイルと設定が保存されました。」画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックしてください。
13. 「転送ファイルが作成されました」画面が表示されますので、「次へ(N)」をクリックしてください。
14. 「このコンピューター上でのWindows 転送ツールの処理は完了しました。」画面が表示されますので「閉じる」をクリックします。
15. 「Windows 転送ツール」でコピーされなかったデータがある場合、「外付けUSBメモリ／ハードディスク」へバックアップを行ってください。
特に重要なデータは「Windows 転送ツール」でバックアップされた場合でも、バックアップをしておくことをお勧めします。
16. バックアップを行った「外付けUSBメモリ／ハードディスク」はWindows7の

インストール中は接続しないでください。
バックアップを行ったデータが消失する恐れがあります。

【Windows7ドライバのダウンロード】

1. 弊社サポートページからWindows7対応ドライバのダウンロードを行います。
<http://www.kjs-j.com/go/support/win7drv/>
2. ダウンロードしたファイルは「圧縮 (ZIP形式) フォルダ」形式のため、「圧縮フォルダの展開ウィザード」または他のツールを使用して展開を行います。

本書では「d:¥win7drv」に展開されているものとして説明しております。

※ダウンロード直後のファイルは、ファイルへのアクセスがブロックされる設定になっていることがあります。「ブロックの解除」が行われていない場合、各種警告メッセージが表示され、意図しない動きをする場合があります。

「ブロックの解除方法」は以下の通りです。

1. ダウンロードしたファイルを右クリックし、「プロパティ (R)」を選択します。
2. 「全般」タブの一番下に「セキュリティ:」項目がある場合、「ブロックの解除」ボタンをクリックします。
項目がない場合、ブロックの解除はすでに行われています。
3. 「OK」ボタンを押し、ウィンドウを閉じます。

【注意】ドライバの展開先に「ローカルディスク (C)」を選択しないでください。
OSのインストール時、現在使用中のOSとともにデータが削除され、
ドライバのインストールが行えません。

「圧縮フォルダの展開ウィザード」を使用した展開方法は以下の通りです。

1. ダウンロードしたファイルを右クリックし、「すべて展開 (A)...」を選択します。
2. 「圧縮フォルダの展開ウィザードの開始」画面が表示されますので、「次へ (N)」をクリックします。
3. 「ファイルを下のディレクトリに展開する (O):」に「d:¥win7drv」と入力し、「次へ (N)」をクリックします。
4. ファイルが展開されます。しばらくお待ちください。
5. 「ファイルは下のディレクトリに正しく展開されました。」画面が表示されましたら、「完了」をクリックします。

【アプリケーションソフトの対応】

- ・ ebi. BookReader3Jの電子書籍のバックアップ
OS変更後は別の端末と認識してしまうため、購入した書籍が読めなくなります。
購入した書籍はトランクルーム (50冊まで無料) を使用してバックアップを行ってください。
OS変更時の注意事項などは下記をご参照ください。
<http://www.ebookjapan.jp/ebj/reader/windows/>

【リカバリエリア変更パッチの実行】

Windows7のインストールを行う前に、ハードディスクの設定を変更しないとWindows7のインストールが正しく行えない場合があります。
また、リカバリエリア変更パッチの実行後は、ユーザーズガイドに記載された方法でリカバリを行うことができなくなります。

具体的な方法は【Windows7インストール後、WindowsXPへ戻す場合】を参照ください。

1. 「d:\win7drv\other」フォルダ内の「reccng」をダブルクリックします。
(環境によっては「reccng.cmd」と表示される場合があります。)
「*** リカバリエリアの変更が完了しました ***」メッセージが表示されるのを確認し、「Enter」キーを押します。

【Windows7対応BIOSへの更新】

Windows7のインストールを行う前にWindows7対応BIOSへの更新を行う必要があります。

1. 「d:\win7drv\BIOS」フォルダ内の「ML10J」をダブルクリックします。
(環境によっては「ML10J.exe」と表示される場合があります。)
2. BIOSの書換えの確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。
3. BIOS書換えが行われます。そのままお待ちください。
4. 作業が終了すると、メッセージが表示されます。
「はい(Y)」を選択すると本体の再起動が行われます。
5. 「CMOS Checksum Bad」メッセージが表示されますので、「F2」キーを押し、BIOS画面を表示します。
6. 「F9」キーを押すと、「Load Optimal Defaults?」と表示されますので、「Enter」キーを押します。
7. 「F10」キーを押すと、「Save configuration changes and exit setup?」と表示されますので、「Enter」キーを押します。

■Windows7のインストール (アップグレード インストール)

本モデルはWindowsXPモデルのため、Windows7へのアップグレードインストールはサポートされておりません。

※新規カスタムインストールのみの対応となります。

■Windows7のインストール (新規(カスタム) インストール)

【OSのインストール】

1. Windowsを起動し、デスクトップが表示されている状態で、外付け光学ドライブを本体に接続し、「Windows7 OSのDVD-ROM」を挿入します。
USBメモリやSDカードなどは、すべて取り外してください。
2. スタートメニューよりコンピュータの再起動を行います。
3. BIOSの画面 (KOHJINSHAロゴ) が表示されますので、「F11」キーを数回押します。
4. 「Please select boot device:」が表示されますので、「↑」「↓」キーで外付け光学ドライブを選択し、「Enter」キーを押します。

※表示する内容は外付け光学ドライブの機器によって異なりますが、「SATA: (以下省略)」、「USB: (以下省略)」、「Network:」の3種類が表示されている場合、「USB: (以下省略)」のほうを選択(白地に青文字で表示)します。

5. 「Press any key to boot from CD or DVD.」が表示されたら「Enter」キーを押します。WindowsXPが起動した場合、「2」に戻ってコンピュータの再起動を行います。
6. 「Windowsのインストール」画面が表示されます。
「次へ(N)」をクリックします。

7. 画面が切り替わりますので、「今すぐインストール(I)」をクリックします。
8. 「ライセンス条項をお読みください」画面が表示されますので、内容を確認の上「同意します(A)」のチェックボックスをクリックし、「次へ(N)」をクリックします。
9. 「新規インストール(カスタム)(C)」をクリックします。
10. 「ドライブ オプション(詳細)(A)」をクリックします。
11. 「ディスク0 パーティション2」が選択されている（背景が水色であること）を確認し、「フォーマット(F)」をクリックします。

※ディスク0 パーティション1はリカバリエリアのため、フォーマットしないでください。リカバリエリアを削除した場合、WindowsXPへ復元するには弊社サービスセンターへご依頼いただく必要があります。
有償修理扱いとなり、所定の費用が発生いたします。
あらかじめご了承ください。
12. 「Windowsのインストール」ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。
13. 「Windowsのインストール」ウィンドウが消えたら、「次へ(N)」をクリックします。
14. 「Windowsのインストール中...」画面が表示されます。
OSのインストールが完了するまで30分ほどかかります。
そのままお待ちください。

※リカバリエリア変更パッチを実行していない場合、BCDエラー画面が表示され、正常にインストールが出来ないことがあります。
その場合、電源スイッチを4秒間スライドし、強制的に電源を切り、再度電源スイッチを入れ、手順3（BIOSの画面）から作業を行ってください。
15. 「ユーザー名を入力してください」画面が表示されますので、「ユーザー名」を入力します。
ユーザー名を入力すると「コンピューター名」も自動的に変更されます。
「コンピューター名」の変更が必要なときは「ユーザー名」入力完了後、内容を変更します。
入力が完了したら「次へ(N)」をクリックします。
16. 「ユーザー アカウントのパスワードを設定します」画面が表示されます。
パスワードの設定が必要な際は、パスワードおよびヒントを入力します。
何も入力しない場合または、入力が完了したら「次へ(N)」をクリックします。
17. 「Windowsのプロダクト キーを入力してください」画面が表示されます。
「Windowsのプロダクト キー」は「Windows7 OSのDVD-ROMケースの裏」などに記載されています。
「Windowsのプロダクト キー」の入力完了後、「次へ(N)」をクリックします。
18. 「コンピュータの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」画面が表示されますので、「推奨設定を使用します(R)」をクリックします。
19. 「日付と時間の設定を確認します」画面が表示されますので、表示されている時刻などが正しいことを確認し、「次へ(N)」をクリックします。
20. 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示された場合、「スキップ(K)」をクリックします。
21. Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで、そのままお待ちください。
Windowsのデスクトップ画面が表示された場合、Windows7 OSのインストールは

終了です。
引き続き、【各種ドライバのインストール】を行います。

■各種ドライバのインストール

※手順書はドライバの展開先が「d:\win7drv」として説明しております。

【チップセットドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\Chipset」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「セットアッププログラムへようこそ」画面が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。
4. 「使用許諾契約書」画面が表示されますので、内容を確認の上、「はい(Y)」をクリックします。
5. 「Readmeファイル情報」画面が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. 「[次へ]をクリックして続行してください」メッセージが表示されましたら、「次へ(N)>」をクリックします。
8. 「セットアップ完了」画面が表示されます。「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が選択されていることを確認し、「完了(F)」をクリックします。

※「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が表示されず「完了(F)」のみが表示され、自動的に再起動が行われない場合があります。
この場合はスタートメニューよりコンピュータの再起動を行ってください
9. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【ビデオドライバ】のインストールを行います。

【ビデオドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\Video」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「セットアッププログラムへようこそ」画面が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。
4. 「使用許諾契約書」画面が表示されますので、内容を確認の上、「はい(Y)」をクリックします。
5. 「Readmeファイル情報」画面が表示されますので、「次へ(N)>」をクリックします。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. 「[次へ]をクリックして続行してください」メッセージが表示されましたら、「次へ(N)>」をクリックします。
8. 「セットアップ完了」画面が表示されます。「はい、コンピュータを今すぐ再起動します」が選択されていることを確認し、「完了(F)」をクリックします。
9. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【KJS Utilities】のインストールを行います。

【KJS Utilitiesのインストール】

1. 「d:\win7drv\KJSUtilities」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「Welcome to the InstallShield(以下省略)」が表示されましたら「Next >」をクリックします。
4. 「Custom」をクリックし、黒い円が「Custom」に移動したことを確認します。
5. 「Next >」をクリックします。
6. インストールする機能一覧が表示されます。
お使いのモデルにより操作が異なります。
 - ・型番がML6KL12A、ML6KL12A、ML6FL16A、ML6SL16Aの場合
Bluetoothのチェックを外します
 - ・それ以外の型番の場合
Webcam Studioのチェックを外します
Bluetoothのチェックを外します
Webcamのチェックを外します

チェックの内容を再確認し、「Next >」をクリックします。
7. 画面が切り替わりましたら、「Install」をクリックします。
8. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
9. 「InstallShield Wizard Complete」画面が表示されます。
「Yes, I want to restart my computer now」が選択されていることを確認し、「Finish」をクリックします。
10. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示され、ハードディスクのステータスLEDが消灯するまでしばらくお待ちください。

【サウンドドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\Audio」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「Realtek High(以下省略)」が表示されましたら「はい(Y)」をクリックします。
4. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
5. 「Windows の再起動」画面が表示されます。
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。
6. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【カメラドライバ】のインストールを行います。

【カメラドライバのインストール】

1. 「Fn」キーを押しながら「F5」キーを数回押し、カメラを有効に切り替えます。

2. 「d:\win7drv\Camera」フォルダ内の「InventecVideoClassPureUSB20PCCam_v5.8.53000.200_WHQL」をダブルクリックします。
3. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
4. 「USB Video Device(以下省略)」が表示されましたら「次へ(N) >」をクリックします。
5. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
6. 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。「完了」をクリックします。
7. デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【3in1メディアスロットドライバ】のインストールを行います。

【3in1メディアスロットドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\MediaSlot」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
4. 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。「完了(F)」をクリックします。
引き続き【タッチパッドドライバ】のインストールを行います。

【タッチパッドドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\TouchPad」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「よろこそ」画面が表示されますので「次へ(N) >」をクリックします。
4. 「使用許諾書の条項を確認する」画面が表示されますので、「同意する」をクリックし、「同意する」の右側に青い円が表示されるのを確認します。
5. 「次へ(N) >」をクリックします。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. 「セットアップ完了」画面が表示されます。「完了」をクリックします。
8. 「これらの変更を適用するにはコンピューターを再起動する必要があります。」画面が表示されますので「今すぐ再起動する(R)」をクリックします。
9. コンピュータが再起動し、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【無線LANドライバ】のインストールを行います。

【無線LANドライバのインストール】

1. 「Fn」キーを押しながら「F4」キーを数回押し、無線LANを有効にします。
2. 「d:\win7drv\WLAN」フォルダ内の「VT6656_Win7_V1.0.0.2_32bit.exe」をダブルクリックします。
3. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリック

します。

4. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
5. 「インストールが完了しました」画面が表示されますので「OK」をクリックします。
6. 「スタート」ボタンを押し、スタートメニューを表示します。
7. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理(G)」を選択します。
8. 「デバイスマネージャ」→「ネットワークアダプタ」→「VIA Technologies (以下省略)」をダブルクリックします。
9. 「詳細設定」→「802.11Zonetype」を「ETSI」に変更し、「OK」をクリックします
10. 開いてるウィンドウを閉じ、デスクトップ画面が表示されたら、引き続き【LANドライバ】のインストールを行います。

【LANドライバのインストール】

1. 「d:\win7drv\Audio」フォルダ内の「setup」をダブルクリックします。
2. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
3. 「Realtek Ethernet(以下省略)」が表示されましたら「次へ(N) >」をクリックします。
4. 「[インストール]をクリックして(以下省略)」が表示されましたら「インストール」をクリックします。
5. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
6. 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。「完了」をクリックします。【各種ドライバのインストール】は完了です。
引き続き【バックアップしたデータの復元】を行ってください。

■バックアップしたデータの復元

※「Windows転送ツール」を使用してWindows7インストール前に行ったバックアップの復元を行います。

1. バックアップを行った「外付けUSBメモリ／ハードディスク」を本体に接続します。
2. 「外付けUSBメモリ／ハードディスク」内にある「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」をダブルクリックします。

※「Windows 転送ツール - 今までのコンピューターの項目」以外の名前で保存した場合、保存したファイルをダブルクリックします。

3. 「Windows 転送ツール」の画面が表示されますので、復元される内容を確認の上「転送(T)」をクリックします。
4. 復元が完了すると「転送が完了しました」画面が表示されます。「転送された内容」および「インストールすべき内容」が表示されますので内容を確認後「閉じる」をクリックします
5. 「転送を完了するには、コンピューターを再起動してください」画面が表示されますので、「今すぐ再起動する」をクリックします。
引き続き【アプリケーションソフトウェアのインストール】を行ってください。

■アプリケーションソフトウェアのインストール

【StationMobile5】（TVチューナ搭載モデルのみ）

1. 下記URLより「Microsoft Visual C++ 2005 SP1再配布パッケージ」をダウンロードします。
<http://www.kjs-j.com/go/support/win7drv/vc2005sp1.html>
※Microsoft社のサイトに転送されます。
ダウンロードするファイル名は「vcredist_x86.exe」となります。
2. ダウンロードを行った「vcredist_x86.exe」をダブルクリックします。
3. 「開いているファイル - セキュリティの警告」画面が表示されますので「実行(R)」をクリックします。
4. 「Microsoft Visual C++ 2005 SP1再配布パッケージ」画面が表示されますので内容を確認の上、「はい(Y)」をクリックします。
5. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
6. インストールが行われます。しばらくお待ちください。
7. ハードディスクのステータスLEDが消灯したのを確認します。
引き続き「StationMobile5」のインストールを行います。
8. 「d:\win7drv\TV」フォルダ内の「install」をダブルクリックします。
9. 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので「はい(Y)」をクリックします。
10. 画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【Adobe Reader】

以下のURLから最新版のプログラムをダウンロードしてください。

<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

ダウンロード後は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【ebi. BookReader3J】

「c:\kjs」フォルダ内のebi. BookReader3JはWindows7と互換性が無いためインストールを行わないでください。

以下のURLから最新版のプログラムをダウンロードしてください。

<http://www.ebookjapan.jp/ebj/reader/windows/>

OS変更後は別の端末と認識してしまうため、購入した書籍が読めなくなります。
購入した書籍はトランクルーム（50冊まで無料）を使用して復旧してください。

【マカフィー・PCセキュリティセンター】

「c:\kjs」フォルダ内のウィルス対策ソフトウェアはWindows7と互換性が無いためインストールを行わないでください。

Windows7対応版のプログラムは以下URLよりダウンロードを行い

インストールを行ってください。

<http://www.kjs-j.com/go/support/win7mcafee/>

※ダウンロードには、工人舎PC本体のシリアル番号が必要です。

【メールソフト(Outlook Express、Windows Mail等)について】

メールソフトはWindows標準機能では提供されなくなりました。
Outlook Express、Windows Mailの代替として、Windows Liveメールをインストールすることでメールを使用することができます。
Windows Liveメールは、以下のURLよりダウンロードすることができます。
<http://download.live.com/?mkt=ja-jp>
ダウンロード後は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

【その他アプリケーションソフトウェア】

アプリケーションソフトウェアをインストールされる時は事前に、Windows7への対応状況を確認後、インストールされることをお勧めいたします。
ソフトウェアによってはWindows7に対応していない場合があります、意図しない現象が発生する可能性があります。

■その他、補足事項

【Aero(エアロ)機能の使用について】

本機はWindows7のAero機能に対応しておりますが、モバイル環境で使用する場合、動作低下や動画がスムーズに再生されないなどの現象が発生することがあります。
その場合は「Windows7 ベーシック」または「Windowsクラシック」テーマをご使用ください。
(デスクトップ上で右クリック、「個人設定(R)」でテーマの設定画面が表示されます。

【言語バーについて】

デスクトップ右下に表示される「言語バー」がフロート表示の場合、動画などの再生において、こま落ち等が発生することがあります。
「言語バー」を「最小化(タスクバーに固定する)」することで、こま落ちなどが改善することがあります。

■Windows7インストール後、WindowsXPへ戻す場合

【WindowsXPリカバリディスクの作成(Windows7での操作方法)】

リカバリエリア変更を行うとユーザーズガイドに記載された方法でリカバリを行うことが出来なくなります。
WindowsXPのリカバリを行う際は「WindowsXPリカバリディスク」を使用し、インストールを行います。
外付けDVDドライブを本体に接続後、「d:\win7drv\0other」フォルダ内の「xprec.iso」ダブルクリックします。
画面の指示に従い「WindowsXPリカバリディスク」を作成してください。

【WindowsXPリカバリディスクの起動】

1. Windowsを起動し、デスクトップが表示されている状態で、外付け光学ドライブを本体に接続し、「WindowsXPリカバリディスク」を挿入します。
USBメモリやSDカードなどは、すべて取り外してください。
2. スタートメニューよりコンピュータの再起動を行います。
3. BIOSの画面(KOHJINSHAロゴ)が表示されますので、「F11」キーを数回押します。
4. 「Please select boot device:」が表示されますので、「↑」「↓」キーで外付け光学ドライブを選択し、「Enter」キーを押します。

※表示する内容は外付け光学ドライブの機器によって異なりますが、「SATA: (以下省略)」、「USB: (以下省略)」、「Network:」の3種類が表示されている場合、「USB: (以下省略)」のほうを選択(白地に青文字で表示)します。

5. 「Press any key to boot from CD or DVD.」が表示されたら「Enter」キーを

押します。Windows7が起動した場合、「2」に戻ってコンピュータの再起動を行います。

6. リカバリのメニューが表示されます。
「リカバリを行う(R)」をクリックします。
※WindowsXPリカバリディスクはCドライブへのリカバリ機能のみとなります。
あしからずご了承ください。
7. 画面が切り替わりリカバリ作業が開始されます。
※「リカバリ作業中です しばらくお待ちください」から次の画面が表示される
まで数分間かかる場合があります。そのままお待ちください。
8. リカバリが終了すると自動的に電源がオフとなります。
電源をオンにし、Windowsのセットアップを続行してください。

KU00980